

評価結果概要表

作成日 平成 22 年 3 月 31 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0570706671号
法人名	トクテイ ヒエイリ カブドウ ホウジン 特定非営利活動法人 NPO社会福祉事業振興会
事業所名	グループホームすずらん湯沢
所在地	湯沢市元清水2丁目5-20 (電話) 0183-79-6300
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成22年3月10日

【情報提供票より】 (平成22年2月2日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 5 月 8 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	11 人 (常勤 10 人 非常勤 1 人 常勤換算 8.2 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000~27,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 250 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	1 名	要介護4	3 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82.4 歳	最低 66 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	雄勝中央病院、高橋歯科医院、後藤医院
---------	--------------------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

法人理念「創」に基づき、人とのつながりや安らぎのある生活環境づくり、互いの笑顔と心身のケアを大切にすることを事業所の理念として掲げ、今年度の事業所の目標である「思いやり」に基づいたケアに努めている。
利用者との日々の関わりから職員の気づきや利用者の意向などを「なんでもノート」に記し、職員間で共有しながら理念に沿った利用者一人ひとりへの個別支援に努めている。
そのため、介護計画には利用者の言葉で支援目標を示し、「酒っこ飲みで」との意向に対しては、職員が自作で「居酒屋すずらん亭」を事業所内に設け、夕食時に晩酌できるよう工夫している。
また、事業所の広報「こんにちは！すずらん湯沢です」を町内全戸や関係機関に配布し、行事などを通じて近隣住民との交流を深めているため、今後は町内会を通じてさらなる理解と協力を求め、地域全体で利用者を見守り、支える仕組みづくりに向けて取り組んでほしい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価結果に基づき、地域包括支援センターを通じて行政の栄養士から栄養指導を受けたり、意見箱の設置や新任・現任研修計画の作成、外出機会や居室の冷涼対策の工夫など、具体的な改善につなげている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が自己評価に取り組み、ミーティングで確認しながら管理者がまとめており、外部評価結果に基づき改善計画シートを作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営状況のほか外部評価結果に基づく課題を提起し、畑や花のプランターづくりを通じて地域との関わりを深めているほか、高齢化や外出支援など地域の課題についても検討している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱を設置し、運営推進会議にはすべての家族へ参画を呼びかけているほか、広報の定期発行など事業所及び利用者の情報を提供しながら家族が意見を述べやすい機会づくりに努めている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	広報「こんにちは！すずらん湯沢です」を町内全戸に配布し、畑や花壇づくりで地域の方が協力してくれたり、近隣幼稚園児との交流を深めており、管理者が町内会総会に参加して事業所の理解と協力を求めている。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社全体と、湯沢独自の理念を作り、それに向けた実践に取り組んでいる			法人理念「創」に基づき、人とのつながりや安心で安らぎのある生活環境づくり、互いの笑顔と心身のケアを大切にすることを事業所の理念として掲げている。 また、年度毎に事業所の目標を定め、今年度は「思いやり」に基づいたケアに努めている。	○	前回評価でも課題としているが、利用者の重度化に伴い地域との関わり方やケアのあり方も変化するため、事業所理念や年度目標などに明確に示し、今後の実践につなげてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所、玄関、相談室に理念を掲示しているが、浸透や理解は不十分である	○	毎月のミーティング時に再確認していく	事務所や玄関、相談室に理念や目標を掲示し、個別のケースや課題等に応じて理念を確認している。 また、日々の関わりから気づいた点などを「なんでもノート」に記載し、理念と照らし合わせながら理念の共有に努めている。	○	申し送りや各種ノートを有効に活用し、新任職員への周知も含めた職員間での理念及び年度目標の理解に努めてほしい。
	3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの玄関に理念を掲示しているが、浸透や理解は不十分である	○	運営推進会議やご家族様の面会、又毎月の報告書等で取り上げていく			
2. 地域との支えあい								
	4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームの行事にチラシや声かけにて、参加していただいている。又見かけた時は、挨拶したり、野菜等いただく事もある	○	もっと気軽に立ち寄っていただけるようにする			
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、ホーム広報を発行して、配布させていただいている。又ホームの行事では、近所の方が歌や踊りを披露してくださっている	○	地域活動にもっと参加していく	町内会を通じて地域向けの広報「こんにちは！すずらん湯沢です」を年数回発行し、事業所の理解とPRに努めている。 また、事業所の行事に招待したり、花壇やプランター、畑づくりなどで近隣住民が事業所を訪れる機会が増えてきている。	○	管理者が町内会の会合に積極的に参加しているため、事業所や認知症に対する理解と協力を求める場としても活用するとともに、広報に事業所の行事や活動内容を詳しく盛り込むなど、積極的な情報提供に努めてほしい。
	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	デイサービスの受け入れをしている	○	積極的に働きかけていく			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果に対し、改善に向けて実施している	○	未改善な項目について、ミーティング等で話し合っていく	職員一人ひとりが自己評価に取り組み、ミーティング時に話し合いながら管理者がまとめている。 また、外部評価結果に基づき改善計画シートを作成し、優先順位を決めて改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には職員も参加し、議事録は全職員に回覧している			2か月毎に開催し、利用者の状況報告のほか外部評価結果に関連する改善事項を提起して改善につなげている。 また、高齢化や高齢者の外出支援など、地域の共通課題についても話し合い、共通認識を図っている。	○	外部評価結果を報告し、地域の共通課題についても改善に向けて検討し、具体的な取り組みにつなげてほしい。 また、家族の参画が希薄なため、会議の日時を工夫するなど参加しやすい環境づくりも工夫してほしい。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者、管理者が行っている			前回評価結果を受けて行政に広報を配布し、地域包括支援センターへの相談から行政の栄養士による栄養指導につなげるなど連携している。 また、行政の補助を受けてスプリンクラーを設置したり、地域ケア会議に参加して利用者の相談や支援につなげるなど有効に連携している。		
	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前は、地域権利擁護事業を利用している利用者がいたが、現在は利用している方がいない	○	いつでも支援できるよう、学ぶ機会があれば参加していく			
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修へ参加し、OJTを行い情報を共有している					
4. 理念を実践するための体制								
	12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が十分な説明を行い、理解・納得していただいている					
	13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加していただいている。又苦情受付窓口を設けている					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の報告書や面会時、「すずらん湯沢だより」にて、情報提供に努めている			「すずらんだより」を定期的に発行し、利用者の暮らしぶり行事などの状況を写真を添えて報告している。 また、利用者一人ひとりの様子を手紙で知らせているほか、面会時や電話などでも伝えている。	○	「すずらんだより」に行事予定や職員の異動状況など事業所全体の動きを載せるなど、情報提供の充実に努めてほしい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加していただいたり、面会時にお話を伺ったりしている。又玄関へ意見箱を設置している	○	もっと、家族の意見を伺えるような環境作りに努め、又家族会設置に向けて働きかけていく	前回評価結果を受けて意見箱を設置し、運営推進会議にはすべての家族へ参加を呼びかけるなど、家族が意見を述べやすい機会づくりに努めている。	○	前回評価結果でも課題としている家族会の設置に向けて働きかけているため、家族の負担にならないよう開催方法を工夫しながら実現させ、家族の意見集約から具体的な取り組みにつなげてほしい。
	16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営推進会議への参加や、毎月のミーティング、年1回の総会や個人面談を行っている					
	17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	5交替制にし、必要時には職員を増やしているが、急な対応には無理な面もある					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は慎重に行い、利用者に対しては説明や挨拶をしている。又異動後も訪問し合い、交流に努めている。新人職員へは、ベテラン職員がサポートし、利用者へのダメージを防いでいる			管理者及び職員の異動時には、利用者及び家族が納得するまで丁寧に説明している。 また、新任職員にはベテラン職員が付き添いながらケアにあたり、利用者の不安解消に努めている。		
5. 人材の育成と支援								
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数や役職に応じた研修への参加をし、OJTを実施している			前回評価結果を受けて新任・現任研修計画を作成し、職員の希望やスキルに応じて必要な研修を受講している。 また、研修参加時には職員の目標を定め、研修成果をミーティング等で報告して職員間で共有している。	○	研修受講に際した目標のほか、スキルアップや将来像など職員一人ひとりの当面の目標を明確にし、研修受講の根拠として研修計画に反映させてほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互勉強会へ参加し、他ホームへ訪問している。又見学の受け入れもしている	○	全職員が、何らかの機会をもち、他施設等を訪問出来るようにしたい	県及び圏域の連絡協議会に加入し、管理者及び職員が他事業所との交換実習などで相互の勉強会に参加しており、交流を図りながら互いのレベルアップにつなげている。		
	21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個人面談を実施し、出来る範囲での要望を開き入れている。又年数回、職員同士の親睦会を行っている					
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	経験年数による資格取得の援助や、研修、OJTへの参加、又各職員に合った業務分担を行っている					
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
	23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	こちらから面接に伺い、想いを聞き取り情報収集に努めている					
	24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	こちらから面接に伺い、想いを聞き取り情報収集に努めている					
	25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援の可、不可を見極め判断している					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	家族と一緒に見学して頂き、職員や他利用者と接して、雰囲気を体感して頂き、徐々に馴染めるように努めている			本人及び家族が事業所を見学し、職員が自宅に訪問するなど、馴染みの関係づくりに努めている。 また、病院からの利用時には家族と面談し、本人の生活歴や生活史などの情報収集を行いながら利用につなげている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援								
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	過去の経験や得意な事、趣味等を活かした場面作りをし、学んだり、支え合う関係作りに努めている			山菜の処理や柿の渋抜き、畑作り、植物を育てる過程など、利用者の知識や経験を職員が共有し、生活に生かしている。 また、利用者が全員分の毛糸編みのひざ掛けを作成したり、布の椅子カバーを作成しており、職員が毛糸を準備するなど感謝しながら支え合う関係づくりに努めている。		
	28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、日々の様子の報告や月間報告書の提出、ホームの行事への参加をしていただいている	○	面会を増やしていただけるように働きかけていく			
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会や外出時等、家族で過ごす時間を大事にしている	○	ホームの行事への参加を呼び掛けていく			
	30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅への帰省の呼びかけや、馴染みの場所への外出に努めている	○	電話や手紙等の支援。又訪問出来る利用者や場所が限られている為、支援の仕方を話し合っていく			
	31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	行事や外出、外食、又は共同で作業を行うことで、良い関係が築けるよう努めている					
	32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	一時的な荷物の保管や転居先（病院等も含む）へ訪問するときもあるが、その後は殆ど付き合いがなくなる					
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
1. 一人ひとりの把握								
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の関わりやモニタリングを通して、その都度ケアプランに反映させている	○	全ての希望や意向を取り入れる事は難しいが、出来る限り実行していきたい	利用者一人ひとりの生活リズムや行動パターン把握に努め、意思表示できない方でも時間帯に応じて次の行動を促すなど、常に利用者の言動に気を配りながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時や入居後本人とお話し、又は面会から情報を得ているが、細かいところまでは把握できていない	○	本人や面会を通して、更なる把握に努めたい			
	35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日誌や個人記録、または日頃の関わりの中から、総合的に把握するように努めている					
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃のアセスメントや、月1回のモニタリングを行い、介護計画に反映させている			計画作成担当者が担当職員の意見や家族の意向を把握し、ケアカンファレンスで意見交換しながら介護計画を作成している。 また、介護計画には利用者の言葉をそのまま記載し、「なんでもノート」で利用者の感情を共有している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に計画の見直しを行っている。又必要に応じてカンファレンスを行い、緊急な変更もしている			利用者の状況や意向、職員の気づきを個人記録や「なんでもノート」に記載し、毎月のモニタリングで検討しながら3か月毎に見直している。 また、利用者の個別支援の状況についても家族と連絡を取りながら随時見直し、ケアに反映させている。		
	38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日報や個別記録、又は情報を共有するノートを活用し、実践や介護計画の見直しに努めている					
3. 多機能性を活かした柔軟な支援								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族に代わって病院へ行ったり、系列の事業所と行事等を通じて連携している			馴染みの理美容院に通ったり、家族に代わっての通院介助など、利用者及び家族の意向や状況に応じて柔軟に支援している。 また、障害者の雇用の場を確保するなど、社会的な貢献にも努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
	40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	運営推進会議へ参加していただいたりボランティアの受け入れ等をしている					
	41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ケア会議に参加し、意見や情報交換に努めている					
	42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	困難事例の相談等や、入退居にあたり活用・協働している					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれの主治医に通院し、かかりつけ薬局からはアドバイスをいただく事もある				かかりつけ医への定期受診のほか、協力医とも連携しながら利用者の健康管理に努めている。 また、歯科医の往診により口腔ケアに取り組み、かかりつけ薬局からは薬の配達や服薬等の指導を受けている。		
	44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医に経過をみながら助言をいただいたり、相談出来ている						
	45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診時や緊急の場合のみ相談出来る	○	気軽に相談出来る看護師がいない				
	46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	面会時に、病院関係者と情報交換している						
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	個々の必要性に応じて、家族と話し合っている	○	グループホームで支援できる限度を伝え、早い時期から受け入れ施設の申し込みの手続きについての情報を提供していかなければならない	利用者の状態に応じて終末期の対応を家族と話し合い、事業所での対応の限界を説明しながら方針を決めており、看取りに関する情報収集や医療機関との連携体制を相談している。	○	前回評価でも課題としているが、利用者の重度化に伴い、事業所で看取りたいとの思いがあるため、終末期における連携体制や支援のあり方などの方針を書面で明確にし、職員間で共有しながら今後のケアに反映させてほしい。	
	48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の意見も大事にし、その時々出来る限りのことを、医療と連携し支援に取り組んでいる						
	49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	生活リズムが継続できるように、情報を提供している						
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援									
1. その人らしい暮らしの支援									
(1)一人ひとりの尊重									
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	丁寧な声かけをし、本人の意思を尊重した対応を心がけている。又個人ファイルの保管や受診等での持ち出し時は注意している				利用者の生活リズムや経歴などを理解し、排泄誘導時にはさり気なく利用者の傍に寄り添い、その方に合った言葉遣いで優しく声をかけている。 また、個人の記録類は、事務所内の書庫で施錠管理し、個人情報の保護に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いや希望にそえるような対応と支援に努めている	○	自己決定出来るように働きかけていく			
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースで生活していただけるように努めているが、どうしてもホームの流れを優先してしまっている	○	本人の希望を聞き、それにそった支援をしている	利用者一人ひとりの生活リズムを把握し、朝食や昼食時間をずらしたり、日中の過ごし方に配慮している。 また、夕食時には事業所内に設けた「居酒屋すずらん亭」で晩酌する方など、利用者の意向に添うよう努めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援								
	53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みの床屋の利用や、季節毎の衣類交換と整理、又入浴時には好みの衣類を本人に出していただいたりしている。行事等では化粧の支援もしている	○	耳かきやひげ、鼻毛、寝ぐせ等への対応を考えていく			
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物と一緒に行き、好みの食材を選んでもらっている。又一人一人の好みや体調、状態に合わせた調理をしている。準備や食事、片付けもしていただいている	○	調理方法等を教わる	職員は利用者の状態に応じて目配りし、さり気ない介助や声かけに努め、刻みやトロミなど調理方法も配慮している。 また、通院帰りに外食したり、小鉢の品数を多くするなど、食事を楽しみ、満足できるよう工夫している。		
	55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物と一緒に行き、好みの菓子等を選んでもらう、楽しみが持てるようにしている。又、個々に合わせた嗜好品を提供し、楽しめるように支援している					
	56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように「尊厳の保持」に配慮して支援している	排泄表等を活用し、適時誘導で失禁を減らしている。又トイレの戸のガラスに目隠しをしたり、中にはカーテン、本人へは膝かけやタオルをかけている	○	誘導時の声かけは、他利用者へ聞こえないように小声で話すようにする			
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日を決められている方もいるが、入られる前にはバイタルチェックを行い、体調の良い方の希望を取り入れ、入浴剤や湯温の調整をしている。又、同性介助希望の方へも対応し、楽しんで入られるように工夫している	○	入浴拒否される方の為に、いつでも入浴出来る環境作りや、温泉等も考えている	基本の入浴日を設定せず、利用者の希望や健康状態に応じて毎日でも入浴できるよう柔軟に支援しており、同性介助についても意思確認している。 また、入浴を嫌がる方には気分転換を図りながら促し、入浴剤や湯温調節など利用者に合わせて工夫しているほか、シャワーや足浴、月1回の温泉など入浴を楽しめるよう支援している。		
	58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯は21時としているが、個々の睡眠を把握し、ベッドメイクや頭の高さ、照明器具の調整をしている。又冬場はストーブや電気毛布等を使い暖めている。眠れない方へは、お茶を出したり夜間入浴を勧める事もある。日中は本人の希望を聞き、畳や冬場はこたつも設置している					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や特技等を活かせる関わりを持ち、日々の生活に張り合いが生まれるように支援している	○	外出等は決まった方になりがちで、全員が外出できる環境を作る		調理や洗濯物たたみ、畑の収穫など利用者毎に役割を担い、習字の得意な方は手書きで昼食メニューを作成している。 また、手芸が得意で他利用者にひざ掛けを作る方、カラオケで歌を楽しむ方や晩酌する方など、思い思いに過ごしている。	
	60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で所持している方もいるが、管理出来ない事と自分で持っていたいと言われる方がいない事から、ホームで管理し希望の物を代行して購入したり、買い物へ行った時は払っていただけるように声かけをしている	○	家族に相談し、力に応じた額を使える環境作り			
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ADLの面で、いつも同じ方が外出している。日常的な外出は難しいが、ホーム周辺の散歩はしている	○	事前に希望を聞き、予定を立て思いに沿える様な環境作りと、冬期間の工夫		前回評価結果で外出機会の工夫を課題としているが、周辺の散歩やドライブを兼ねた買い物、温泉や通院、外食など利用者の状態に応じた外出の機会づくりに努めている。 また、車イスの方でも外出できるよう車輛も確保し、外出の頻度を増やしている。	
	62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	一人一人に希望を聞き、それに応じられるような対応に努めている。地域の行事等への参加も支援している					
	63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により、電話をかけたり手紙を出したりしている	○	年賀状等を書いていただけるように支援している			
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族に面会を呼び掛けたり、面会時はお茶や椅子、テーブル等を提供し、居室等でゆっくりお話できるような環境作りに努めている					
(4) 安心と安全を支える支援								
	65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修やOJT等で理解に努めているが、日々の声かけが行動を抑制していることがある	○	声かけのしかたを話し合っていく必要がある			
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵はかけないようにし、玄関にチャイムをつけ、人の出入りがわかるようにしている。又安全の為、居室の戸に鈴をつけている居室もある				玄関には鍵をかけず、チャイムの設置や事務所からの見守りで利用者の外出を把握し、職員が付き添いながら支援している。 また、居室にも鍵をかけず、ドアの開閉がわかるよう鈴をつけ、夜間の出入りや見守りに努めている。	○ 前回評価でも課題としている近隣住民による見守りについて、町内会を通じて理解と協力が得られるようも引き続き働きかけてほしい。
	67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は居室にこもらない様な声かけをし夜間や居室で過ごされている場合は、さりげなく見守りしている					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々に応じて危険と思われた時は預けてもらい、必要な時に職員が見守りしながら使っている	○	職員のいない事務所からハサミを持っていかれる方がおり、机の引き出しに鍵をかけて保管している			
	69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひやりはっとノートを利用し、危機意識を高めるように努めている。又一人一人のリスク管理表を作成し、見やすい所へ掲示している	○	救命講習の定期的な受講と、研修等へ参加する			
	70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	救命講習を受けていない職員がいる。受講済みの職員も引き続きの受講が必要と思われる	○	定期的に訓練や話し合いをしていく			
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	定期的に火災訓練を行っている。運営推進会議にて、近所の方に協力していただけるようお話している	○	スプリンクラーを設置している。又近所、地域への協力のはたらきかけをし、各想定での訓練を実施する	消防計画に基づき年2回の避難訓練を行い、地震や火災を想定した実践的な訓練を実施している。 また、昨年末にスプリンクラーを設置して防火設備の充実を図っているほか、水や乾パンの備蓄などで緊急時に備えている。	○	町内会の協力を得られるよう検討しているため、今後は避難訓練の近隣住民の参加を呼びかけ、災害時の役割を明確にして緊急時に備えてほしい。
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所時や面会時、状態の変化があった時に、お話ししている	○	ホーム側からの報告程度になっており、もっと話し合っていく			
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックや観察で得た情報を共有し、必要時には家族へ相談・報告し、受信対応をしている					
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ薬局から、薬の説明書をいただき、不明な点は病院や、かかりつけ薬局に相談している	○	モニタリングやOJT等で話し合っていく			
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤の使用と合わせて、牛乳やヨーグルト、ヤクルト、体操をすすめており、個々に調整している					
	76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨きや口腔洗浄をしていただいている。又夜間は義歯洗浄をしていただいている					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう状況を把握 し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じ た支援をしている	献立表や水分表を活用し、各摂取量を把握して おり、月1回の体重測定で経過を見ている。又栄 養士に献立をチェックしていただいている			前回評価結果を受け、地域包括支援センターを 通じて行政の栄養士から助言を得ながら栄養バ ランスのとれた献立作成に努めている。 また、利用者の食事や水分摂取量を把握し、毎 月の体重測定により利用者の状態変化及び健康管 理に気を配っている。		
	78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取 り決めがあり、実行している（インフル エンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノ ロウイルス等）	インフルエンザやノロウイルス、肝 炎についての取り決めはある。又換 気やハイター・モーリスでの消毒、 マスク、うがい、手洗いの励行を している					
	79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場 としての台所、調理用具等の衛生管 理を行い、新鮮で安全な食材の使 用と管理に努めている	調理前の手洗いと調理器具の消 毒、食材の消費や賞味期限を守り、 早目に使い切っている					
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1) 居心地のよい環境づくり								
	80	○安心して出入りできる玄関まわりの 工夫 利用者や家族、近隣の人等にと って親しみやすく、安心して出入 りができるように、玄関や建物周 囲の工夫をしている	スロープや手すりの設置。玄関 周りには、花壇や自動販売機を 設置している					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、 台所、食堂、浴室、トイレ等）は、 利用者にとって不快な音や臭い や光がないように配慮し、生活感 や季節感を採り入れて、居心地 よく過ごせるような工夫をして いる	季節の飾り物や花、植物、こた つ、加湿器、イベントの案内や写 真の貼り出し、トイレには空気 清浄機や芳香剤、夏場はすだれ を設置している			事業所内は天窓があり明るく、 花や観葉植物のほか行事や孫の 写真を飾り、家庭的となるよう 工夫している。 また、横になれる畳のスペース やコタツを置き、インフルエン ザ対策として空気清浄機や加湿 器なども設置して快適な空間づ くりを努めている。		
	82	○共用空間における一人ひとりの 居場所づくり 共用空間の中には、独りになれ たり、気の合った利用者同士で 思い思いに過ごせるような居場 所の工夫をしている	ソファやベンチを置いたり、畳 スペースへは冬場、こたつを設 置している。自然と自分の場所 が決まっている	○	いつも決まった場所になりがち で、好きな場所へ座ったり、休 めるようにしていく			
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配 慮 居室あるいは泊まりの部屋は、 本人や家族と相談しながら、使 い慣れたものや好みのものを活 かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	本人が使い慣れた物を持ってき ていただき、本人や家族と相談 し配置している。又好みのカレ ンダーや写真、花等を飾ってい る	○	居室に冷房がない為、冷風扇や 換気扇、すだれにて対応してい る	居室には馴染みの家具やベッ トを持ち込み、家族の写真を飾 るなどして個性ある生活空間づ くりを支援している。 また、前回評価で夏場の冷房対 策を課題としているが、居室の 窓際に朝顔やゴーヤの葉で緑の カーテンをつくるなど、日差し よけと涼感の演出に努めている。		
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみ がないよう換気に努め、温度調 節は、外気温と大きな差がない よう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	季節に合わせた調整、冷暖房 器具や換気扇の使用、汚臭には 空気清浄機や芳香剤を使用してい る					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な所に手すりを設置している					
	86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その場所に応じた目印や名前等を表示。又その方に合った声かけをし、早目の対応を心がけている					
	87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇や畑を利用し、花や野菜を育てている	○	積極的に活動できる環境を作る			

※ は、重点項目。

項目		自己評価	
		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
V. サービスの成果に関する項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・穏やかな雰囲気
 ・周辺にスーパーや飲食店等があり、買い物等の外出がしやすい